

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-299203

(43) 公開日 平成8年(1996)11月19日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 J 43/24			A 4 7 J 43/24	
B 0 2 B 1/04	1 0 2		B 0 2 B 1/04	1 0 2

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平7-145097

(22) 出願日 平成7年(1995)5月10日

(71) 出願人 595084298

丹内 英夫

埼玉県春日部市粕壁東5丁目13番33号

(72) 発明者 丹内 英夫

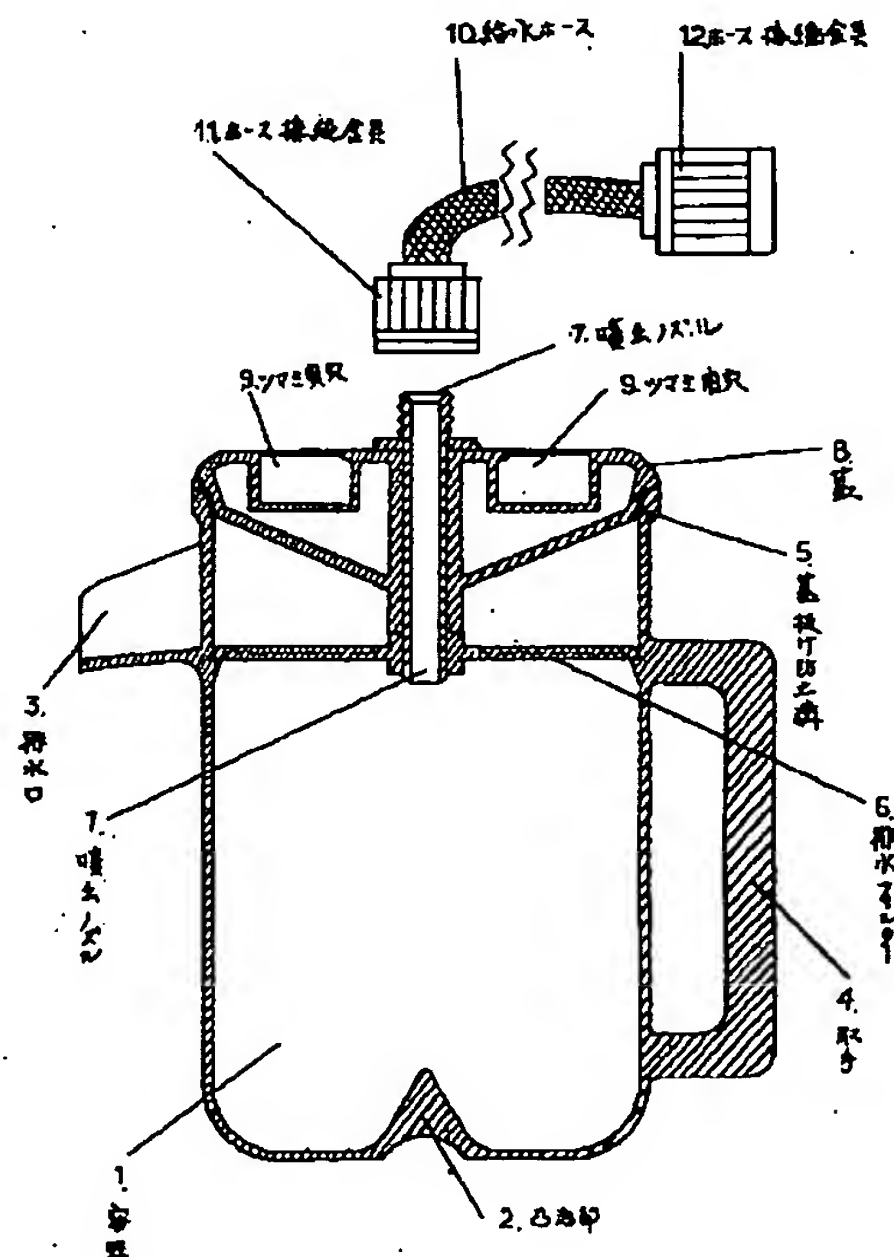
埼玉県春日部市粕壁東5丁目13番33号

(54) 【発明の名称】 自動洗米器

(57) 【要約】

【目的】 手を水に濡らさず米洗いが誰にでも簡単にできる家庭用水道の水力を利用した自動洗米器を提供する。

【構成】 容器(1)の底部に凸起(2)と上部に排水口(3)を設け、蓋(8)の中央に噴出ノズル(7)を設け、その噴出ノズル(7)の下部先端位置の周りに排水フィルター(6)を設け、噴出ノズル(7)の上部と家庭用水道の蛇口とを給水ホース(10)で接続することを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 容器(1)の底中央に凸起(2)を設け、蓋(8)の中央に設けた噴出ノズル(7)の下部先端に排水フィルター(6)を設け、噴出ノズル(7)より噴出する水力によって容器の中の米を洗う家庭用水道の水力を利用した自動洗米器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、家庭用水道の水力を利用した自動洗米器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、家庭で米を洗う際には人の手による方法であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これは次のような欠点があった。

(イ) 家庭での米洗いは誰にでも上手にできるものでなく、誰もが嫌う仕事の一つであった。

(ロ) 冬期時に於ける米洗いは、手による洗いのため水が冷たく特に辛い仕事であった。

本発明は、これらの欠点を除くためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】容器(1)の底中央に凸起(2)を設け、上部に排水口(3)を設け、蓋(8)の中央部に噴出ノズル(7)を設け固定し、噴出ノズル(7)の下部先端に排水フィルター(6)を設け固定する。そして、噴出ノズル(7)の上部に給水ホース(10)の片端(11)を装着し、もう片端(12)を家庭用水道の蛇口に装着する。本発明は、以上のような構成よりなる自動洗米器である。

【0005】

【作用】容器(1)に、噴出ノズル(7)と排出フィルター(6)の付いた蓋(8)を装着し、給水ホース(10)の片端(12)を家庭用水道の蛇口に装着し、蛇口のcockを開く事により自動洗米の動作が得られる。

【0006】

【実施例】以下、本発明の実施例について説明する。

(イ) 容器(1)の底中央に凸起(2)を設け、上部に排水口(3)を設ける。

(ロ) 蓋(8)の中央部に噴出ノズル(7)を設け固定し、噴出ノズル(7)の下部先端に排水フィルター

(6)を設け固定する。

(ハ) 噴出ノズル(7)の上部に給水ホース(10)の片端(11)を装着し、もう片端(12)を家庭用水道の蛇口に装着する。

本発明は以上のような構造で、これを使用するときは、容器(1)の中に必要量の米を入れ、蓋(8)を装着し、水道の蛇口のcockを大きく開くことにより水は噴出ノズル(7)の下部より勢いよく容器内(1)の底中央の凸起(2)に向かって噴出し、この凸起部に水が当たり左右前後に分散され、その後、上下に対流を繰り返しながら洗米され、容器内(1)の水が一杯になると汚れた水は排出フィルター(6)を通過し、排水口(3)より外へ排出される。終了のために停止するときは、洗う時間を計って、水道の蛇口のcockを閉めて停止させるか、または排水の汚れの色を見て停止をすれば良い。洗米後、蓋部のツマミ用穴(9)を持って容器(1)より蓋(8)を取り外し、容器の取手(4)を手で持って炊飯器の内釜容器に洗い終わった米を移し替えれば良い。なお、終了後、洗米器本体は温水等できれいに洗うこともできる。

【0007】

【発明の効果】誰でも容易に扱うことができ、手を水に濡らさず寒い冬期時でも関係なく洗米することができ同じ結果を出すことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の斜視図である。

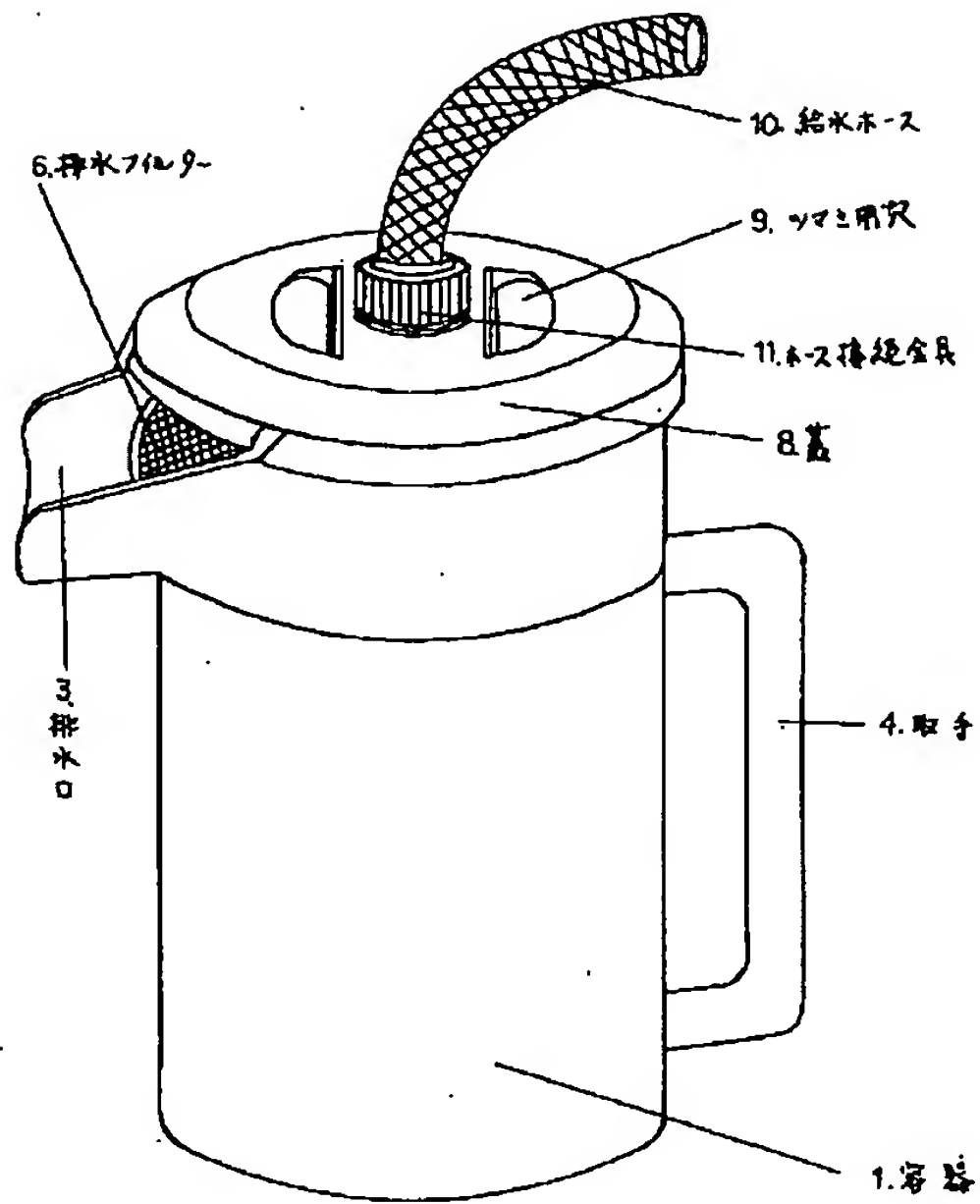
【図2】本発明の組立斜視図である。

【図3】本発明の要部の断面図である。

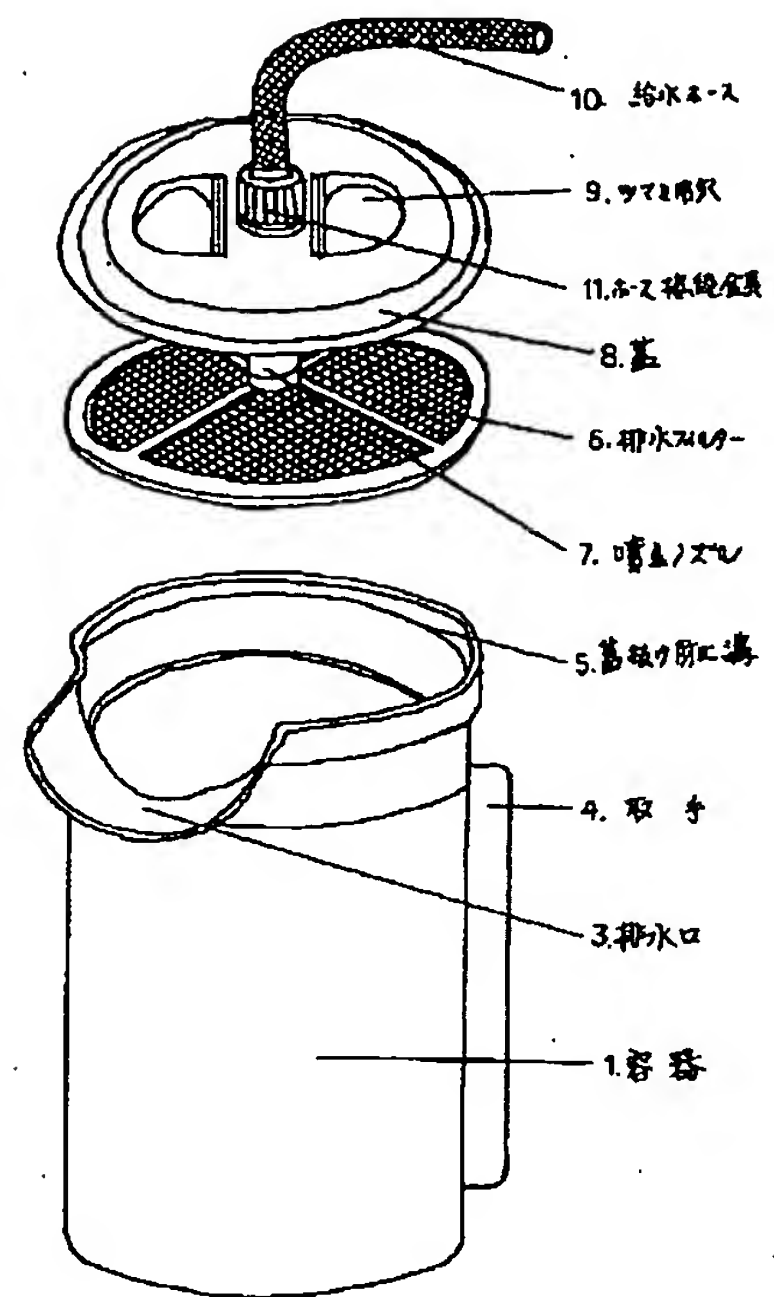
【符号の説明】

- 1 容器
- 2 凸起部
- 3 排水口
- 4 取手
- 5 蓋抜け防止溝
- 6 排水フィルター
- 7 噴出ノズル
- 8 蓋
- 9 ツマミ用穴
- 10 給水ホース
- 11 ホース接続金具
- 12 ホース接続金具

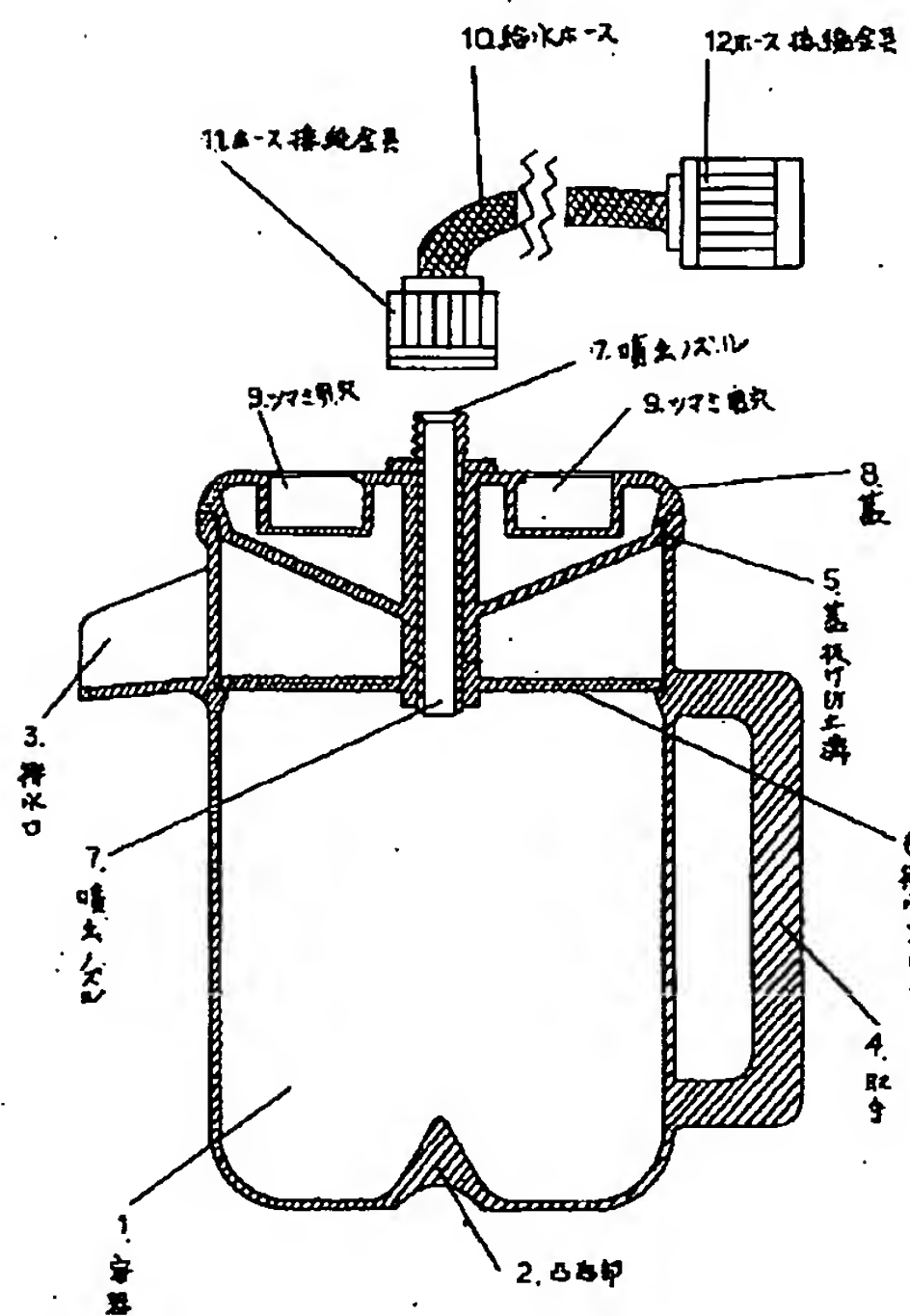
【図1】



【図2】



【図3】



PAT-NO: JP408299203A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08299203 A
TITLE: AUTOMATIC RICE WASHER

PUBN-DATE: November 19, 1996

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TANNAI, HIDEO	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TANNAI HIDEO	N/A

APPL-NO: JP07145097
APPL-DATE: May 10, 1995

INT-CL (IPC): A47J043/24 , B02B001/04

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide an automatic rice washer utilizing the hydraulic power of city water for households capable of letting anyone easily wash rice without getting hands wet.

CONSTITUTION: A projection 2 is provided on the bottom part of a container 1, a water discharge port 3 is provided on an upper part, a jetting nozzle 7 is provided on the center of a cover 8 and a water discharging filter 6 is provided around the lower tip position of the jetting nozzle 7. Then, the upper part of the jetting nozzle 7 and the faucet of the city water for the households are connected by a water supply hose 10.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO